

稲作だより 第2号

令和5年8月7日発行

JA 福岡市東部 福岡市農業指導センター農産班

梅雨明け後は好天に恵まれ、生育は概ね順調ですが、高温傾向が続いていますので、稲の生育も早まることが予想されます。ただし、6月下旬以降に田植えを行った圃場の生育はやや遅れ気味です。

1. 気象条件

| 7月31日 現在 | 平均温度(°C) | | | 日照時間(hr) | | | 降水量(mm) | | |
|-------------|----------|------|-----|----------|------|--------|---------|-------|--------|
| | 平年 | 今年 | 平年差 | 平年 | 今年 | 平年比 | 平年 | 今年 | 平年比 |
| 6月上旬 | 21.3 | 21.5 | 0.2 | 54.4 | 43.0 | 79.0% | 37.4 | 53.5 | 143.0% |
| 6月中旬 | 22.6 | 24.0 | 1.4 | 48.6 | 70.3 | 144.7% | 82.7 | 1.5 | 1.8% |
| 6月下旬 | 23.9 | 25.8 | 1.9 | 33.7 | 26.0 | 77.2% | 123.2 | 106.0 | 86.0% |
| 7月上旬 | 25.6 | 27.0 | 1.4 | 41.6 | 24.8 | 59.6% | 148.7 | 373.5 | 251.2% |
| 7月中旬 | 26.9 | 29.5 | 2.6 | 56.1 | 53.4 | 95.2% | 92.4 | 10.5 | 11.4% |
| 7月下旬 | 27.8 | 28.8 | 1.0 | 77.2 | 83.7 | 108.4% | 53.0 | 59.5 | 112.3% |

2. 病害虫の発生状況

(1) いもち病

現時点では、管内の一部圃場で発生を確認しております。谷あい朝露が乾きにくいなど、いもち病が発生しやすい条件の圃場については、引き続き注意してください。また、いもち病が穂首に発生してしまうと減収しますので、必ず田んぼに入って確認して下さい！



(2) 紋枯病

高温傾向が続き、にわか雨もあることから、一部圃場で発生を確認しております。特に、毎年のように発生する田んぼは、一度田んぼに入って確認し、膝よりも高い位置に病斑が確認出来る場合には、バリダシン液剤等での防除を検討しましょう。上位の葉(止め葉等)に進むと減収に繋がります。



(3) 斑点米カメムシ類

今後好天が続けば発生が多くなる可能性があります。畔草管理と併せ総合的な防除を心掛けてください。

出荷される場合、斑点米は等級が下がる原因となりますので、薬剤防除も検討しましょう。薬剤による防除適期は、粒剤なら出穂期～穂揃期、粉剤及び水和剤であれば粒剤散布時期から7日～10日後頃です。防除薬剤はスタークルやキラップですが、カメムシの他、ウンカにも効果があります。



ホソハリカメムシ

(畔草管理)

- ・出穂3週間前頃に畦草を刈られた方は、出穂期直前にもう一度草刈りを行いましょう。
- ・稲が出穂期を迎えた時、畦草にも穂が着いている場合、出穂20日後まで草刈りは待ちましょう。

(4) イネカメムシ

近年、県内でも早期水稻を中心に発生が増加しています。

管内におきましても、昨年は出作（久山町猪野、久原）において発生が確認され、本年も同様に、久山町猪野の夢つくしで確認され、一部圃場で防除を行いました。このカメムシは、斑点米を発生させるだけでなく、出穂開花期に籾の基部付近から吸汁することで、不稔籾を発生させて減収となるため注意が必要です。なお、発生は品種や地域によって差があります。また、農薬によって防除効果に差があると言われておりますが、スタークルは有効のようです。ご自分の圃場で見つけられたら JA 本店又は支店までご一報お願いします。



(5) トビイロウンカ(秋ウンカ)

県下では、7月上旬に飛来が確認されています。管内では、トビイロウンカに効果の高い「防人箱粒剤」「スクラム箱粒剤」を導入しており、現時点では見受けられておりませんが、今後の発生には十分注意してください。特に、上記箱粒剤を使用していない田んぼでは細心の注意を払って下さい。



(6) コブノメイガ

現在、管内の田んぼで白変被害葉が散見されますが、現時点での防除は必要ありません。



3. 今後の水管理

(1) 中干し後の水管理

中干しは終了していると思われます。中干し後は稲作日より 1 号でも紹介しておりましたように間断灌水を行ってください。なお、中干しが十分にできなかった圃場では、強めの間断灌水を行ってください。

(2) 出穂期前後の水管理

最も水を必要とする出穂期前後 1 週間程度は、水を切らさないよう気を付けて下さい。

(3) 早期落水防止

出穂期後 1 週間ほど過ぎたら間断灌水を行きましょう。収穫作業に支障がない限り、収穫間際まで間断灌水を継続し、落水時期を遅らせるようにしてください(収穫 7 日前以降)。

(4) 出穂後の強風対策

台風や強風時には深水にして、稲を保護してあげましょう。台風通過後も数日間は湛水状態を保ってください。

4. 出穂期および収穫適期予想

(1) 普通期水稻

田植え後は一貫して高温傾向が続いています。夢つくしや元気つくしの5月下旬植えは例年より出穂期が2日程度早くなっています。しかし、6月下旬以降に田植えをした圃場は、稲作だより1号の予想よりやや遅れ気味です。

(8/3時点)

| | 田植日 | 出穂期 | 収穫適期予想 |
|-------|------|--------|--------------------------|
| 夢つくし | 5/20 | 7/26 | 8/26～8/31 頃 |
| | 5/27 | 7/31 | 9/1～9/6 頃 |
| | 6/10 | 8/8 頃 | 9/10～9/15 頃 |
| 元気つくし | 5/20 | 8/1 | 9/3～9/8 頃 |
| | 6/3 | 8/11 頃 | 9/15～9/20 頃 |
| | 6/10 | 8/13 頃 | 9/18～9/23 頃 |
| | 6/17 | 8/17 頃 | 9/24～9/29 頃 |
| | 6/24 | 8/23 頃 | 10/2～10/7 頃 |
| ヒノヒカリ | 6/3 | 8/22 頃 | 稲作だより3号に記載致しますので、ご確認下さい。 |
| | 6/10 | 8/24頃 | |
| | 6/17 | 8/26 頃 | |
| | 6/24 | 8/29 頃 | |
| ヒヨクモチ | 6/17 | 9/4 頃 | |
| | 6/24 | 9/6 頃 | |

※8月3日以降の出穂期は予想です。

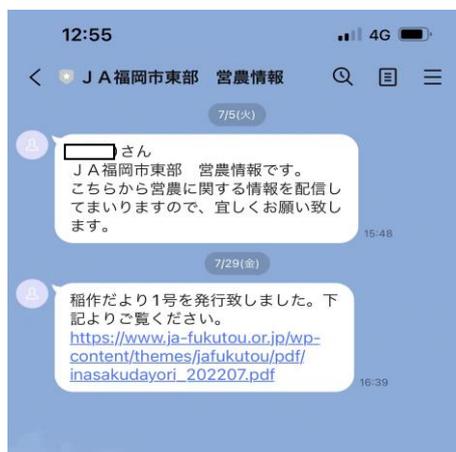
※出穂・収穫適期は平年気温等のデータを用いて算出しておりますが、今後の天候等で変わることがあります。今後も高温傾向が続くと出穂期や収穫期は早くなります。

—内容に関する問い合わせは営農生活課 白垣・井手口または福岡普及指導 C まで—
JA 福岡市東部 営農生活課：621-4696

営農情報について

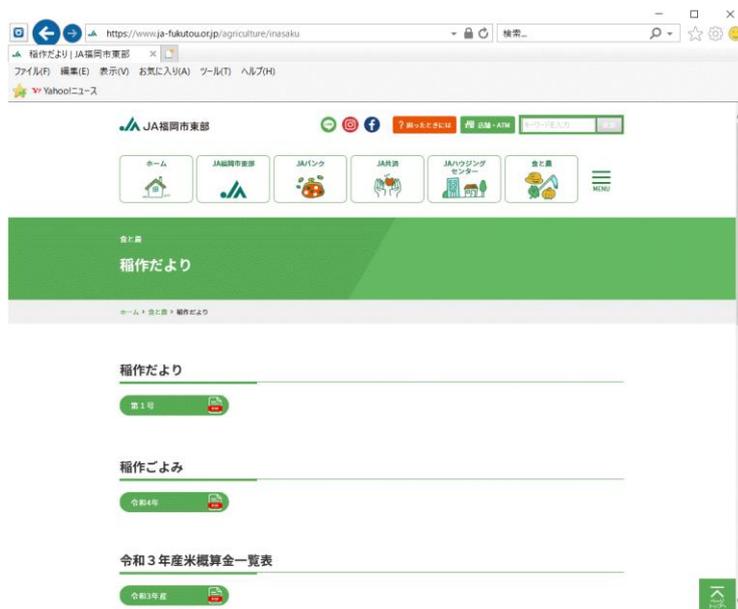
①最新の情報を LINE でお届けいたします。

営農情報（稲作だより等）を「JA 福岡市東部 営農情報」の LINE でも発信しております。下記の QR コードから LINE のご登録をお願い致します。



※積算気温による収穫適期予想や台風対策なども随時お知らせしていきますので、是非ご活用ください。

②稲作だより等の情報が下記の QR コードよりご覧いただけます。



※今後の発行スケジュールですが、「稲作だより 3号」を8月末か9月初頭に、「稲作だより 4号」を年末にと考えておりますので、ご参考下さい。